



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

3月定例市議会閉会 「高額療養費引き上げ中止」意見書

3月19日、3月定例市議会が閉会しました。市長提出議案48件はすべて可決成立しました。日本共産党市議団は、「こども誰でも通園制度」条例、庄和保健センター廃止、令和7年度一般会計・特別会計予算など14件に反対しました。

一般会計予算と介護保険会計予算については、以下の予算修正案を提案しました。

学校給食費無償化、
介護保険料引き下げ

《一般会計予算》

●学校給食費無償化

給食調理室の請願は
2件とも否決

党市議団が提案した国への

●第5段階以下の保険料を値上げ前に引き下げ
○不足する財源(2億7432万円)は介護保険基金から

●77歳に1万円の祝い金贈呈
●公民館使用料無料化
●障害者入所施設設置、公立保育所新増設、公共交通二一ズ調査のための調査費
○不足する財源(9億2373万円)は前年度繰越金から

●18歳以下国保税免除
●77歳に1万円の祝い金贈呈
●公民館使用料無料化
●障害者入所施設設置、公立保育所新増設、公共交通二一ズ調査のための調査費
○不足する財源(9億2373万円)は前年度繰越金から

●請願と党市議団提案の意見書に対する各会派の賛否

	請願			党市議団提出の意見書			
	給食調理室 トイレの改修	給食調理室の 改築・改修	インボイス廃止 の意見書提出	高額療養費負担 引き上げの撤回	水道・下水道事 業に支援強化	食料と農業の 危機打開	大規模災害被災 者へ支援拡充
日本共産党 (4)	○	○	○	○	○	○	○
自民・無所属の会 (8)	×	×	○	○	○	○	○
次世代かすかべ (6)	×	×	○	○	○	○	○
公明党 (6)	×	×	×	○	○	○	○
立憲民主党 (1)	×	×	○	○	○	○	○
日本維新の会 (1)	×	×	×	○	○	○	○
無所属 (榛野)	○	○	○	○	○	○	○
無所属 (酒谷)	○	○	○	○	○	○	○
無所属 (古沢)	○	○	○	○	○	○	○
結果	×	×	○	○	○	○	○

意見書(4件)はすべて全会一致で可決し、国に意見書が送付されました。
各議員の賛否は次の通り

市民からの請願は「インボイス制度廃止の意見書」は賛成多数で可決しましたが、給食調理室の2件は否決でした。

＜生活相談は日本共産党へ＞

並木としえ TEL090-3916-0168
今尾やすのり TEL090-1032-4833

大野とし子 TEL090-7843-4945
木下みえ子 TEL050-3559-1640

日本共産党市議団ホームページ

https://www.jcp-kasukabe.jp/



国土交通省の高齢者交通空白地域の基準は 駅から500m以上。春タクの基準の見直しを

大野とし子議員一般質問



3月7日大野とし子議員は①春タクの区域制限をなくし、春日部市全域に拡充を②市は社会福祉協議会と連携し、福祉行政の推進をについて一般質問を行いました。

駅から80mバス停から300mの距離制限をなくせ

令和6年1月から開始した第4次春バス運行で庄和南線などの運行を廃止した代わりに、公共交通の少ない庄和地域全域に実証実験として春タクが新たな制度

として拡充されました(庄和北部地域ですでに導入)。

対象は75歳以上の方と妊産婦ですが、交通空白地域対策であることから、駅から80mバス停から300m以内の人は対象としていません。

令和7年1月までの登録者は467人で、春タクを申請したけれど、距離制限があり不承認となった方は98人でした。

大野議員は、不承認となった方が98人もいたことを重く受け止めるべきことを主張し、以下の観点から距離制限をなくすことを求めました。

- ①国土交通省都市計画課において、高齢者の交通空白地の規定は駅から500m以上となっていること。
- ②土木学会の調査によると

80歳以上の方が無理なく歩ける距離は100mであること。③県内タクシー代補助制度を取り入れているどの自治体でも距離制限はないこと

都市整備部長は、「持続可能な公共交通の実現を目的として、高齢者の移動手段の確保のために距離制限を設けています」と変更する考えは示しませんでした。

次に多くの路線を廃止した春日部地域へも春タクを拡充して、移動手段を確保することを求めました。

都市整備部長は、「タクシーは鉄道や路線バスを補完するもので、既存の公共交通機関への影響が懸念されることから慎重な検討が必要と考えています」と答弁しました。

市は社会福祉協議会と連携し福祉行政の推進を

春日部市社会福祉協議会が、令和8年8月に老朽化と財政が厳しいことを理由に庄和社会福祉センターを閉鎖することを決めました。大野議員は、住民福祉の拠点である庄和社会福祉センターは市が財政的支援をして建て替え等検討することや、今後は市として必要な財源、予算を振り向け、福祉行政推進のためにもっと連携すべきと求めました。福祉部長は、「閉鎖は社会福祉協議会が決めた」と聞いています」と答弁しました。市長は、「社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画は本市の地域福祉計画の実施計画というべきものです。両計画が相互に連携することが地域福祉を推進していくために重要であり、連携を強化し、地域共生社会の実現をめざしていきたい」と答弁しました。

休日の当番店

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119
3/30(日)はまさきの郷クリニックノ割3-16-9 TEL7731-7777 浜崎医院(小児科系) 備後西3-8-57TEL745-6000 杉浦眼科豊春分院(外科系) 上蛭田259-2 TEL754-2333
4/ 6(日)埼玉東部診療所(内科系) 大畑321宮前ビル1階 TEL720-8715 安達医院(小児科系) 栄町3-287 TEL761-6398 小笠原医院(外科系) 新宿新田319-2 TEL746-0088